

Wiki を用いた地域密着型情報サイト「久喜 Wiki」の構築

駒込健嗣[†] 瀬戸章宏[†] 吉村健太[‡] 本田真望[†] 大島邦夫[†]
 東京理科大学経営学部[†] 東京理科大学大学院経営学研究科[‡]

1 はじめに

近年、インターネットの急速な普及により大量の情報を簡単に得ることができる社会になった。しかし、地方都市に関する情報は大都市に比べてまだまだ少ない。さらに、多くの場合それらの少ない情報は商工会等が提供する一方的な情報程度しかないのが現状である。

同様に、ユビキタスネットワークの発展により地方から全国に向けた情報発信も容易になり、全国の至る所に情報発信の主体が存在するようになってきた。インターネットは利用者にとっては一方的に情報を受け取ることが主だったが、近年では、双方向に情報をやり取りすることができるようになったため、グローバルなネットワークの中でローカルな情報を相互に発信する可能性が高まってきている。

以上を踏まえて本稿では、Wiki を地域ポータルにも活用し、埼玉県久喜市を対象に地域に密着した Web サイト『久喜 Wiki』を構築し、地域ポータルとしての一つのモデルを提案する。

2 Wiki の利用

Wiki はブラウザのみで Web コンテンツを編集することができるサーバ・ソフトの一種である。つまり、利用者は誰でも記事を投稿、編集できることが Wiki の最大の特徴である。Wiki にも様々な種類があり、多くは無償で公開している。本稿では無償で公開されている「pukiwiki」を使用する。

『久喜 Wiki』を構築するのに先立ち、利用者は何を地域ポータルに求めているのか知るために、久喜市役所で 53 名を対象にアンケートを行った。アンケートは何も手を加えていない状態の「pukiwiki」を実際に使用してもらい、意見を収集した。その結果、主に以下の意見を得た。

- ・トップページがシンプルすぎる
- ・書き込みが難しい
- ・利用者が書き込めることに気付かない
- ・地図等の情報が欲しい

Construction of community-based information site "Kuki Wiki" that uses Wiki

[†]Kenji Komagome, [†]A.Seto, [†]K.Yoshimura, [†]M.Honda, [†]K.Kunio

[‡]School of Management, Tokyo University of Science

このことから、Web ページのデザインとインタフェースの改良と、利用価値の高まるような機能の追加・工夫の必要性があると判断した。

3 『久喜 Wiki』の概要

3.1 デザインの工夫

事前に行ったアンケートの結果を踏まえて、『久喜 Wiki』に様々な改良を行った。

まず、図 1 のように見やすさを考慮し、トップページを利用者の目に留まるように改良した。タイトル表示部分を左上に配置し、デザインもスマートにすることで利用者が一目にページを全体的に見渡せるようにした。

次に、一般の利用者が分かりやすいように編集ボタンや投稿ボタンのあるツールバーを大きく配置し、混乱を避けるためにバックアップ等のユーザーが利用しないようなボタンは削除した。従来のものと比較したものを図 2 に示す。

そして『久喜 Wiki』を印象付けさせるために、久喜市の花であるイチョウをモチーフにし、落ち着いた温かみのある橙色を中心とした配色に変更した。



図 1 改良した『久喜 Wiki』トップページ

[トップ] [編集] [凍結] [差分] [バックアップ] [添付] [リロード]

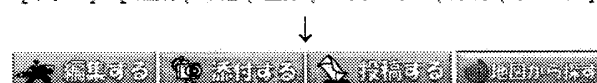


図 2 ツールバーの比較 (下が改良版)

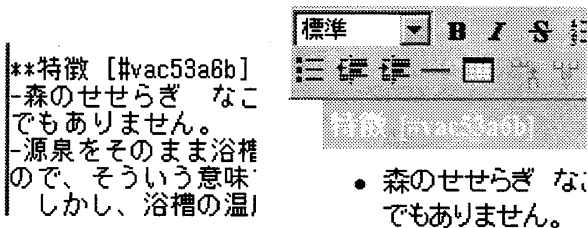


図3 編集画面の比較 (右が WYSIWYG)

3.2 システムの工夫・追加

(1) PICK UP プラグインの作成

トップページを充実させるために、PICK UP というプラグインを作成した。各記事に添付された画像を図1の中央のようにトップページに表示させる機能である。PICK UP は、利用者が画像を添付する際にトップページに表示するかどうかを任意に選択することができるので、利用者による情報発信をアピールできる。また、PICK UP に選択された画像が複数存在する場合はトップページにランダムに表示される。

(2) WYSIWYG プラグインの作成

次に、書き込みに関する工夫を行った。従来の編集画面では見出しの作成や表等の挿入には特殊な記号を用いる場合があり、編集時の表示と更新して表示されるものが異なっていた。そこで、WYSIWYG プラグインを導入し、編集画面と更新後の表示のギャップを極力無くすように編集画面を変更した。編集に必要な各機能を直感的にわかる仕様に変更し、ワープロソフトのような書き込みが可能になった(図3)。

(3) Google Maps の追加

『久喜 Wiki』の利便性向上のため、Google が提供する地図情報提供サービス「Google Maps」を利用した地図からの検索機能も追加した。『久喜 Wiki』に投稿された住所の特定できる記事を XML ファイルに記事名、住所、座標、リンク先 URL を格納し、地図上にマーカーで表示する。また、地図上からのマーカーをクリックすることによる検索の他にも、一覧表からジャンルや記事を直接探して地図上に表示させることが可能である。

3.3 その他の様々な機能

これまでに紹介してきた工夫や追加に加えて、『久喜 Wiki』では携帯電話での活用、路線検索、天気情報、管理者のブログ等、様々な機能を導入している。

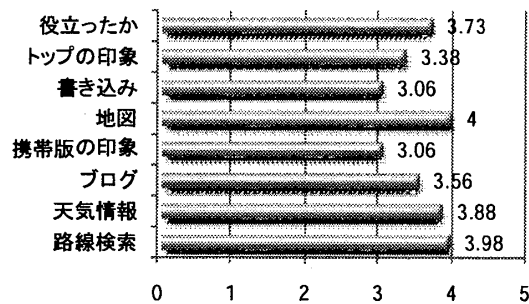


図4 アンケート結果 (5段階評価の平均値)

4 『久喜 Wiki』の評価

本稿では様々な工夫や新機能を作成してきた。それらが利用価値の高いものとなりうるかを調べるために、再び久喜市役所にて 91 名の久喜市民を対象に各項目を 5 段階で評価するアンケートを行った。

その結果、地図や路線検索では特に高い評価を得ることができた。しかし、書き込みとモバイル版の印象の評価は 3.06 となり、高い評価を得ることができず課題を残す結果となった(図4)。

5 まとめ

本稿では、Wiki を用いて利用価値の高い地域ポータルサイトを構築することを試みてきた。そしてアンケートでは概ね高評価を得ることができた。このことから、当初の目的であった利用価値の高い地域ポータルサイトを構築することは概ね達成できた可能性は高い。しかしトップの印象や書き込み等デザインやインタフェースの観点から見ると高評価を得ることができず、まだ改善の余地がある。

今後は、さらに利用者が思わず『久喜 Wiki』を使いたくなるような仕組みを充実させることが求められる。そしてさらに完成度が増せば、利用者も増え、このモデルを地方都市にとって重要な情報源の一例とすることができるだろう。

参考文献

- [1] 増井雄一郎、天野龍司、大河原哲、miko 「PukiWiki 入門」、翔泳社、2006
- [2] 小林大樹 「Web デザインサンプル BOOK」、成美堂出版、2007
- [3] (株) アंक 「PHP 辞典」、翔泳社、2006
- [4] アイティティ 「Google Maps API2 活用リファレンス」、技術評論社、2007
- [5] 総務省 「情報通信白書」、ぎょうせい、2007
- [6] 「Pukiwiki 公式サイト」
http://pukiwiki.sourceforge.jp/